所属から生まれるもの

なぜ、この時期にこの内容なのでしょう？

進路通信　題字:山口那々実
業学一体
for all(123)

『あなた方には必ず「東商業生」「〇年生」「△組」「□部」と肩書(かたが)きが付きます』

（良いことも悪いことも「東商業は」「〇年生は」「△組は」「□部は」「◇の家の子は」と言うのが世間）

その肩書きを"窮屈に感じる"か"**誇りに思う**"かで、考え方や行動が変わってきます。

①肩書きによって自分自身が**「守られている」**ことを理解しましょう。
⇒〝東商生〟だから先生方は..親だからこそ〝娘〟、〝息子〟に..〝部員〟だから..〝クラスの一員〟だから..

②肩書きに対しあなた方には**「責任がある」**ことを意識してください。
⇒在校生でも卒業生でも、そして教師でも〝札幌東商業高校〟！進路先、街の人たち、世間はそう見ます。

◎集団に所属することは、肩書を得ること。肩書を得ることは、安心をもらうこと。と、同時に責任を果たすこと◎

「校則」や「提出期限」などの**【集団でのきまりごと】**に対して
「守ることの意味・責任、自分の誇り」
「守らなかったことの不信、他への影響」
を考えられる**大人**になりましょう！

⇓

守ってくれる場所、責任を果たせた自分、両方あって安心（信頼）が生まれる。
信頼を失う怖さを知ろう。信頼されるしあわせを知ろう。信頼される行動をとろう。

★10年前の就職試験（集団面接）であった例

他校生「◆◆高等学校からまいりました〇〇です。よろしくお願いします。」
面接官「志望理由を教えてください。」
他校生「はい。私が御社を志望した理由は‥‥‥」
面接官「次の方。」
本校生「◎◎高等学校からまいりました□□です。よろしくお願いします。」
面接官「ああ、あなた◎◎高校ですか‥‥あなたはどのように通学していますか？」
本校生「はい！ＪＲを利用しています。」
面接官「分かりました。結構です。」
本校生「？？？？」

※分かりやすくするため事例内では「本校生」としていますが、「東商業の生徒」ではありません

※本校生
生徒会所属
評定平均4.5
3年間皆勤

＜この後、集団面接は4人の受験者に対し20分続いたが、本校生に聞かれたのはこの一問のみ＞

※3日後、本人に「不採用」の通知が届きました．．．本人はわけがわからず、学校としても納得できず、企業側に「不採用の理由」を問い合わせてみたところ．．．

企　業「恐れながら、先生はＪＲでの生徒の服装や振る舞い、ご存じですか？･･･そういうことです。」

！さすがに令和の時代、こんな露骨なことはないと思いますが..口に出さないだけで..
もし自分がこの立場ならどう思いますか？？

推薦や斡旋を得た生徒は、その裏に何が存在するのか？何を背負うことになるのか？改めて自覚してください。

★過去、授業中にあった例

ある授業で、化粧をしてきたある生徒(B)に注意をした時、別の生徒(A)が..

生徒Ａ「なんでわざわざ学校に化粧してくんの?」
生徒Ｂ「別にいいじゃん！普段何も言われないし、私、進路美容系だし、今から練習してんのよ！」
生徒Ａ「私も美容系よ！美容系に進む生徒はみんなルール破って勝手に化粧してると思われたら、真面目にやってるこっちが迷惑なのよ！」
生徒Ｂ「・・・・」

！どちらも美容系専門学校に進みましたが、一人は資格試験に合格し、ひとりは学校を辞めてしまいました。